

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3912682号
(P3912682)

(45) 発行日 平成19年5月9日(2007.5.9)

(24) 登録日 平成19年2月9日(2007.2.9)

(51) Int. Cl.	F I
CO2F 11/00 (2006.01)	CO2F 11/00 C
CO2F 3/06 (2006.01)	CO2F 3/06
CO2F 3/10 (2006.01)	CO2F 3/10 A
CO2F 11/02 (2006.01)	CO2F 11/02
E02B 3/00 (2006.01)	E02B 3/00

請求項の数 5 (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2004-93124 (P2004-93124)	(73) 特許権者 000211307 中国電力株式会社 広島県広島市中区小町4番33号
(22) 出願日 平成16年3月26日(2004.3.26)	
(65) 公開番号 特開2005-279324 (P2005-279324A)	(73) 特許権者 591260672 中電技術コンサルタント株式会社 広島県広島市南区出汐2丁目3番30号
(43) 公開日 平成17年10月13日(2005.10.13)	(73) 特許権者 301050278 日本ミクニヤ株式会社 東京都港区虎ノ門一丁目1番20号 虎ノ門実業會館内
審査請求日 平成18年9月19日(2006.9.19)	(73) 特許権者 504120604 日比野 忠史 広島県広島市東区東山町6-1-203
早期審査対象出願	(74) 代理人 100099667 弁理士 武政 善昭

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 感潮河川の泥質および水質改善方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

潮の干満がある感潮河川(1)の泥質および水質改善方法であって、
底泥および水中のリンを不溶化・固定化しかつ透水性のよい改質材料(21)を、該改質材料(21)と底泥との間の水の流れを阻害しない容器である泥質・水質改善筒(10)に充填し、

該泥質・水質改善筒(10)を、その上面が前記感潮河川(1)の河床に溜まった泥土の表面付近となるように該河床に複数個埋設し、

前記感潮河川(1)の潮汐により、溶存酸素を含んだ河川水を、前記泥質・水質改善筒(10)内を通過させ、干潮時には該泥質・水質改善筒(10)を介して底泥に酸素を供給する、ことを特徴とする感潮河川の泥質および水質改善方法。

10

【請求項2】

前記改質材料(21)が礫などの固形粒体である、ことを特徴とする請求項1記載の感潮河川の泥質および水質改善方法。

【請求項3】

前記改質材料(21)がアルカリ性固形粒体である、ことを特徴とする請求項1記載の感潮河川の泥質および水質改善方法。

【請求項4】

前記改質材料(21)は、石炭灰を主材料に加水混合して造粒方法により粒状にした石炭灰材料である、ことを特徴とする請求項3記載の感潮河川の泥質および水質改善方法。

20